



よこどっ子

千葉市立横戸小学校
〒262-0001
千葉市花見川区横戸町 1005
TEL043-259-5588
学校だより第4号
令和7年6月30日(月)



小さな世界 ―音楽発表会を終えて― 校長

この時期、蒸し暑い日でもよこどの森の中はいくらか気温が低く、子どもたちは走り回ったり、虫を探したりと元気に遊んでいます。

先日、6月25日には千葉市音楽発表会が行われ、4年生が代表として参加しました。「チャレンジ」の斉唱と「小さな世界」の歌と合奏を市民会館のステージで披露しました。イツアスモールワールドでおなじみの「小さな世界」では、歌とともにアフリカ、スペイン、ブラジル、日本という国・地域のグループに分かれ、様々な打楽器を使って、難しいリズムアンサンブルに挑戦しました。



涼をもたらす
夏のよこどの森

運動会が終わってから本格的な練習を始めましたが、当初はバラバラで、言い争いが始まる場面もあり、曲として完成するのか心配しました。しかし、練習を重ねるうちに、いい演奏にしようという目標に向け、休み時間も練習したり、「校長先生、ギガタブの動画、撮ってください」と様々なものを最大限活用したりと、工夫し、協力するようになりました。

発表会当日は「世界中どこだって、笑いあり、涙あり、みんなそれぞれ助け合う小さな世界」の歌詞通り、苦勞しながらも助け合い、心を一つにして作り上げた演奏は、聞いている人の心に響きました。

4年生はいくつかの候補曲からこの「小さな世界」を選びました。授業で取り組んだ曲の中で、違う歌詞、違う旋律が重なり、新たなハーモニーを生み出す面白さに気付いたようで、個性豊かな4年生らしい選曲です。

この曲は「世界はせまい、世界はおなじ、世界はまるい、ただひとつ」と続きます。毎年、この時期になると「戦後〇年」が話題になります。今年は戦後80年の節目です。横戸小学校も戦争の影響で強制移転を強いられた歴史がありますが、それを経験した方も少なくなり、戦争は昔の話ととらえがちです。しかし、今もなお世界のあちこちで争いは続いています。4月にはインドとパキスタンの間の軍事衝突がニュースになりました。何十年も前ですが、私は父の仕事の関係でインドに住んでおり、両国の戦争を体験しました。小学校に入学する前でしたが、日本に帰る旅客機も飛ばず、様々な生活制限のある中で、幼いながらに「なぜ人は戦争をするのだろう、なぜ仲良くできないのだろう」と感じ、それ以来、その問いが私の中にずっと残っています。そして半世紀以上たっても、両国の対立が続いていることには心が痛みます。

練習を始めた頃は、あちこちでいさかいが起こっていた4年生が、ひと月足らずで協力し、素晴らしい演奏を作り上げたように、私たち大人も様々な違いを認め、それを生かし、新たなハーモニーを生み出す取り組みをしていけば、世界は一つになれるはずだと感じます。

イツアスモールワールドの英語の歌詞には、日本語訳を曲にのせた時収まらなかったのか、訳されていない一文があります。It's time we're aware. 「今がそれに気付く時」です。夏には戦争を取り上げたテレビ番組が多く放映されます。作られたゲームの中の戦いから離れ、真の戦争の恐ろしさを語る人の声に耳を傾けるなど、世界が一つになることの大切さに気付く機会を作っていたいただけたらと思います。